

こくたか 連携だより

2021年発行
第172号
5月号

レウシシア
(4月～6月)

.. 花言葉 ..

「熱い思慕」「ほのかな思い」

新年度のご挨拶 2

高崎総合医療センター 患者サポートセンター
地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通

形成外科の紹介 3

形成外科医長 中村 英玄

栄養だより 4

臨床検査科だより 5

薬剤部だより 6

医師紹介コーナー 7

セカンドオピニオンのご案内 8～9

外来診療担当表 10～11

院長閑話 12

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年度のご挨拶

高崎総合医療センター 患者サポートセンター
地域医療支援・連携センター長 **佐藤 正通**



日頃より、地域医療を共に担う先生方には大変お世話になっております。ワクチン接種が全国的に始まったこの時節におきましても、コロナ禍は今なお続いており終息に至ってはおりません。高崎総合医療センターにおきましては、昨年1月より新型コロナウイルス感染症への対応と致しまして、地域医療機関と共に院内感染対策および診療提供体制の構築に取り組んで参りました。高崎市、高崎医師会そして当センターで取り組んで参りました「地域連携発熱者外来」などは、官民一体となった良質な診療提供モデルと評価しております。高崎医師会の先生方より多くのご参加をお願いすると同時に、今後におかれましても、同新興感染症対応につきましては、オール高崎、オール群馬の体制を我々と共に堅持下さいますよう、切にお願いする次第でございます。

2021年4月1日より高崎総合医療センターの体制が大きく変わりました。新年度体制として、院長は小川哲史医師、副院長は鯉淵幸生医師、統括診療部長として広井知歳医師が各々就任致します。より地域医療に根差した診療提供と、医療安全の充実により担保される医療受給

者を中心においた全人的医療提供を目指して参ります。これら理念に基づいた診療を担保する機能を有しているのが、昨年3月より稼働開始となりました患者サポートセンターであります。入院前からの診療・看護アウトカムを提示し、退院後の患者生活に適合した診療および介護支援を、地域医療連携を利用し、地域と共に取り組む体制を強化して参ります。また、コロナ禍により自粛させて頂いております地域連携症例検討会や各種セミナーにつきましても、登録医をはじめとする地域医療機関に所属されている医師の皆様、そして医療機関を経営し地域医療を担う医師の方々との、情報共有、ご紹介頂きました患者さんの診療報告の場として今年度中に再開できるよう尽力して参ります。コロナ禍にありましても、地域の人々から信頼される医療の提供、そして地域医療を担う先生方との有機的な医療連携に基づいた診療提供体制の構築はまだまだ続きます。これからも国立病院機構高崎総合医療センターは、地域に住まう方々の安心と安全な生活に寄与できるよう、皆様方と取り組んで参ります。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

形成外科の紹介



なかむら ひではる
形成外科医長 中村 英玄

形成外科は、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、機能的、形態的により正常に、より美しくすることによって患者さんのQOL向上に貢献する診療科です。日本に形成外科が登場してから半世紀以上経過していますが、日本での周知はまだまだ浅い診療科です。群馬大学においても2016年に独立診療科として標榜されたばかりで歴史は浅く、今後、皆様に認識していただき、地域の患者さんに貢献できるよう尽力していきたいと考えています。

私はこの度2021年4月から、高崎総合医療センターに赴任させていただくこととなりました。形成外科では怪我（外傷、熱傷、顔面骨骨折など）や傷跡、難治性潰瘍（褥瘡、糖尿病性潰瘍、虚血性潰瘍など）、腫瘍（皮膚腫瘍、皮下腫瘍など）の治療をはじめ、副耳や耳瘻孔などの先天異常、その他にも毛巣洞や陥入爪、腋臭症など様々な疾患の治療を行っております。この

様な疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたらご紹介いただければ幸いです。

外来は現在、火曜（午前、午後）、水曜（午前）、木曜（午前）、金曜（午前）に行っていますが、急ぎの患者さんなどは適宜、ご連絡ください。火曜午後には専門外来として乳房再建外来を設けております。手術は月曜、木曜（午後）、金曜（午後）に行っています。外来、手術に関しては群馬大学からも手助けしていただいておりますが、常勤が私1人体制であり、予定外の処置や手術が入った場合には、患者さんをお待たせしてしまうことがあるかもしれません。ご了承いただければ幸いです。

今後、形成外科として患者さん・ご家族から満足していただけるよう、地域の先生方からご紹介をいただけるよう努力していきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。





「こん(5) にゃ(2) く(9)」の語呂合わせから、
また、5月が種芋の植え付け時期であることから、
一般財団法人日本こんにゃく協会と全国こんにゃく協同組合連合会が1989年(平成元年)に
制定しました。本格的な夏を迎える前に、こんにゃくの効能や機能性を再確認して健康に過ご
してほしいという願いも込められているそうです。

こんにゃくの原料はこんにゃく芋で、サトイモ科に属し、地下茎が肥大したものです。原産地は
インドシナ半島で、縄文時代に日本へ伝わったと言われています。

春に生子(きご)と呼ばれる種芋を植え、秋に収穫します。こんにゃく芋は低温に弱いので、最
低気温が13℃以下にならない場所で保管して翌春に再度植え付け、また秋に収穫します。これ
を繰り返し、3年目の秋に収穫した芋がこんにゃくの原料として使われます。日本では約9割が
群馬県で生産されており、全国一位の生産量となっています。

こんにゃくの96~97%は水分で、水分を除いた主成分はグルコマンナンです。グルコマンナンは
食物繊維の一種で、食物繊維は水溶性食物繊維と不溶性食物繊維の2種類に分けられます。グ
ルコマンナンは水溶性食物繊維ですが、こんにゃくを作る過程で、アルカリ性の水酸化カルシウ
ムを加えるとゲル化し、不溶性に変化します。

〈主な働き〉

整腸作用

便のかさを増やし、腸を刺激して便通をよくします

腸内のそうじ

有害物質を吸着し、排出します

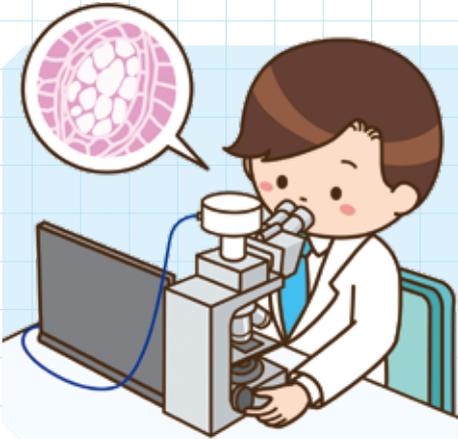
肥満予防

噛み応えがあるため満腹感が得られ、低カロリーです



こんにゃくは低カロリーですが、極端な過剰摂取は下痢や腸閉塞の原因となりますので注意
しましょう

参考：日本こんにゃく協会 (<http://www.konnyaku.or.jp/>)
食品学—食品成分と機能性—(東京化学同人) 2004年



病理検査では、患者の体の一部から切除・採取した組織や細胞を臨床検査技師が顕微鏡標本を作製し、病理医がそれを鏡検して病理診断が下されます。病理診断は病気の最終診断に関与し、病期および治療方針の決定、予後の推定などにかかわる重要な情報を臨床医に報告しています。

病理検査には、**病理組織学的検査（組織診）**、**細胞学的検査（細胞診）**および**病理解剖学的検査（剖検）**があります。

◆組織診

① 生検

病変部から針や鉗子で組織の一部を採取し、病理診断を行うのが目的です。その結果をもとに、臨床医が治療方針を決定します。生検で取り扱う検体には、肝臓や乳腺、前立腺などに針を刺して組織を採取する針生検、消化管や肺から内視鏡で病変部を採取する内視鏡的生検、皮膚や子宮頸部などの病変部を円筒状のメスでくりぬいて採取するパンチ生検、子宮頸部を円錐状に切除する円錐生検などがあります。

② 手術検体

治療方針の決定や患者予後の推定のために、手術で摘出された臓器や組織について肉眼的・組織学的に検索します。生検での病理診断を確認するだけでなく、病変の深部および周囲への進展、血管・リンパ管への侵襲の有無、転移を含めた副病変の有無、切除断端における病変の有無を調べます。

③ 術中迅速診断

手術中に腫瘍の原発巣、組織型や進行度を知り、腫瘍の切除範囲など術式決定に関わる情報を得るため、臓器、組織の一部を採取し、ただちに標本を作製して病理診断を行います。

◆細胞診

擦過物、喀痰、液状検体、穿刺吸引検体などから標本を作製し、腫瘍細胞や感染細胞などについて評価・診断する検査です。組織診よりも患者への侵襲性が少なく、標本作製も容易で、良・悪性のスクリーニングや集団検診に利用されています。

◆剖検

病気で亡くなった患者さんの諸臓器の肉眼的および組織学的な検索を行い、病期の本態、臨床診断の適正さ、直接死因、合併症や治療効果などを明らかにすることを目的として行われます。剖検による検索の結果は臨床病理検討会（clinico-pathological conference:CPC）で討議され、臨床側へフィードバックされるとともに、将来の医学の発展に役立てられます。

次回は病理組織標本の作製方法について説明します。

薬剤部だより

抗菌薬適正使用支援チームの活動について

薬剤部 麻下 絢乃

皆さんは、「風邪を引いたから…」と抗菌薬（主に抗生物質）をもらいに病院へ行っていないですか？そもそも、風邪の原因の多くはウイルスであり、抗菌薬は効きません。また、菌による感染症と診断されて抗菌薬を処方された時に、①症状がよくなったので途中で薬をやめてしまう、②以前に処方された抗菌薬をとっておき調子が悪いときに服用する、③他の人に処方された抗菌薬をもらって服用する、という経験をされた方はいらっしゃいませんか。必要のない場面での抗菌薬の使用や不適切な抗菌薬の使用は、病気が治りにくくなったり、薬の副作用でかえって体調を崩したりするだけでなく、抗菌薬が効かない菌『薬剤耐性菌』をつくるリスクを増やすこととなります。この薬剤耐性菌が増えると、今まで抗菌薬で予防や治療ができた病気が治せなくなることから、世界的な問題となっています。

薬剤耐性菌を増やさないために、当院では2018年に抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を立ち上げ、医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師の多職種で抗菌薬を適正使用するための支援活動を行っています。チームの活動としては、薬剤耐性菌が検出された患者さんの把握、抗菌薬の使用に関して「薬の選択や検査の実施が適切かどうか」、「抗菌薬が効いているか」、「投与期間が適切か」などを評価し、必要に応じて主治医へ情報提供を行っています。さらに、現場で

治療にあたるスタッフからの相談応需や感染症・抗菌薬についての教育など行っています。その中で、薬剤師は患者さんの体格や腎臓・肝臓の機能、原因菌に合わせた適正な抗菌薬を選択できるよう支援を行っています。例えば、抗菌薬の中には血液中の薬の濃度を測定し、患者さん個々に投与量の調整を必要とするものがあります。このような抗菌薬を使う場合は、主治医へ測定を依頼し、その結果をもとに投与量や投与スケジュールの提案を行っています。さらに、患者さんが服用中の他の薬と抗菌薬の飲み合わせや、抗菌薬による副作用が出ていないかを確認し安全な治療を行えるよう支援しています。

また、地域の連携している医療施設と薬剤耐性菌や抗菌薬の使用に関する情報を共有し、地域全体で抗菌薬の適正使用に向けて活動を行っています。

抗菌薬の使用に関して相談や質問等がありましたら、お気軽にお声掛けください。

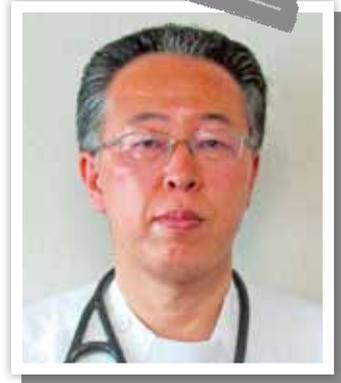


医師紹介 コーナー

当センターの
医師を
紹介します!



はじめまして、令和3年4月から呼吸器内科に勤務しております細野達也と申します。高崎で生まれ育ち高崎高校を卒業後、自治医科大学に進学し平成7年より医師として勤務しております。群馬大学医学部附属病院第二内科、社会保険群馬中央総合病院（現JCHO群馬中央病院）内科、六合温泉医療センター勤務のうち、平成15年より母校である自治医科大学呼吸器内科で専門医療の研鑽を行なっております。専門医資格を取得したのち呼吸器内科病棟医長を経験し、平成20年より宇都宮社会保険病院（現JCHOうつのみや病院）呼吸器内科部長として10年以上勤務してきました。前任地では大学病院などの高次医療機関と地域の先生方とを繋ぎ、宇都宮南部の二次医療を中心とした内科診療に従事してきました。また、自治医科大学地域臨床教育センター担当臨床教授として臨床教育にも携わってきました。今回、地元である高崎に戻ってまいりましたので、地域の医療に貢献できるようにこれまで積み重ねてきたものを活かして診療を行いたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。



●呼吸器内科

ほその たつや
細野 達也

はじめまして、令和3年4月から心臓血管内科として勤務しております大駒直也と申します。生まれも育ちも群馬県で、群馬大学卒業後高崎総合医療センターにて2年間の初期臨床研修を行い、3年目も心臓血管内科の一員として勤務しております。

心臓血管内科では、心筋梗塞や狭心症といった冠動脈疾患をはじめ、不整脈や心筋症、下肢の閉塞性動脈硬化症など多岐に渡る疾患を扱っております。まだまだ未熟で至らない点も多いと思いますが、日々精進し患者様一人一人に寄り添った医療をお届けできればと考えております。

また、私事ではございますが小学生からサッカーをしており、高校時代は高崎高校サッカー部に所属しておりました。高校、研修時代に慣れ親しんだ高崎市の地域医療に貢献できるように精一杯働かせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



●心臓血管内科

おおこま なおや
大駒 直也

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を
実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。



対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、小児科、外科
乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科
泌尿器科、眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円(消費税込み)

30分以上 11,000円(消費税込み)

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	
消化器内科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心臓血管内科	広井 知歳 太田 昌樹	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般	金 水
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	小川 哲史 坂元 一郎	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術 消化器外科全般	木 水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳神経外科	田中 志岳 笹口 修男 佐藤 晃之	脳腫瘍 水頭症、脳外科一般 血管障害	月 木 金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明 薬師寺 孝	口腔顔面痛 口腔外科全般、顎変形症、インプラント	火、水、木、金 月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 加藤 昭彦 <small>予約のみ 午前</small>	奥野 彩花 (真下 大和) <small>午前 予約のみ</small>	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) <small>午後・予約専門外来</small>	佐藤 正通 加藤 昭彦 <small>午前</small>
栄養食事指導外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	須江 麻衣 (植原 正也) <small>午前</small>	須江 麻衣 伊藤 大貴 <small>午前</small>	渋沢 信行 <small>午後</small>	渋沢 信行 伊藤 大貴 <small>午前</small>
神経内科	(池田 雅美)	柴田 真	菊池 雄太郎	丸山 琴音 (古田 夏海) <small>午後・新患外来</small>	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 若松 郁生 <small>午前</small>	細野 達也 内田 恵 <small>午前</small>	増淵 裕朗 田口 浩平 <small>午前</small>	中川 純一 増淵 裕朗 <small>午前</small>	細野 達也 内田 恵 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 都丸 翔太 (石原 弘) <small>午前 午後</small>	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 都丸 翔太 <small>午前</small>	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 成清 弘明 (石原 弘) <small>午前 午後</small>	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 (工藤 智洋) <small>午前 午後・第3週以外</small>	星野 崇 佐野 希望 田村 優樹 (岡野 祐大) <small>午前 午後</small>
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 岡野	安岡 / 増田	上原 / 佐野	上原 / 佐野 / 都丸	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 大駒 直也 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small>	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) <small>午前 再来</small>	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹 <small>午後：不整脈外来 午前</small>	福田 延昭 柴田 悟 (金澤 紀雄) <small>午前 再来</small>	小林 紘生 太田 昌樹 久野 貴弘 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来 第2, 4週午後：ペースメーカー外来 午前</small>
新患外来(午前)	高橋 伸弥	久野 貴弘	村田 智行	羽鳥 直樹	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>	井田 逸朗 山崎 雄高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 木村 有希 <small>午前 午後</small>	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 諸田 潤一郎 (神尾 綾乃) <small>午前 午後第1, 2, 5週のみ 第4週午後</small>	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) <small>午前 午後 第2, 4週午後</small>	倉田 加奈子 田端 洋太 (岩脇 史郎) <small>午前</small>	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 峯村 理紗 (西澤 拓哉) <small>午前 午後</small>
小児外科		(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第1週午後</small>		
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳	小川 哲史 成澤 英司 <small>午前</small>	田中 寛 岡田 幸士	小川 哲史 平井 圭太郎 小川 哲史 小川 哲史 <small>午前 小川 祐介(栄養士) 午後</small>	宮前 洋平 星野 万里江
栄養サポート外来				小川 哲史 小川 哲史 <small>午後</small>	
禁煙外来				小川 哲史 小川 哲史 <small>午後</small>	
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	第1, 3, 5週午後・予約	

1 外来診療受付時間

8:30 ~ 11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

2 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。



地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

()の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴	栗原聰太	(青木雅典) 午前	井上雅晴	栗原聰太
疼痛緩和内科	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前	鯉淵幸生	鯉淵幸生	(荻野美里) 第2、4週午後	鯉淵幸生 第2、4週午前
	徳田尚子 午前	高他大輔 午前	高他大輔	(中澤祐子) 第1、3、5週午後	高他大輔 午前
	成澤瑛理子 午前	徳田尚子 午後	徳田尚子	交代制 午前・予約	徳田尚子 第1、3、5週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前	茂原淳 午前
				羽鳥恭平 午後	
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史	<手術日>	伊部崇史	<手術日>
		高坂貴行		高坂貴行	
整形外科	荒毅	大澤敏久	荒毅	新井厚	大澤敏久
	信太晃祐	齋藤健一	信太晃祐	遠藤史隆	齋藤健一
	遠藤史隆	書上韻	一ノ瀬剛	<手術日>	一ノ瀬剛
			書上韻		
形成外科	<手術日>	中村英玄	中村英玄	中村英玄	牧口貴哉 第1週午前
					青木大地 第2、4週午前
					山津幸恵 第3、5週午前
脳神経外科	田中志岳	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴) 紹介・予約			(内山明彦) 紹介・予約
産婦人科	伊藤郁朗	青木宏	大枝涼平 午前	(金井眞理) 午前	伊藤郁朗
	永井あや	黒住未央	(小林梓) 午前	交代制 午前	青木宏
	黒住未央	井上拓哉			永井あや
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 午前
	岡宮智史				岡宮智史
放射線治療科	永島潤 紹介・予約	永島潤	永島潤	永島潤	永島潤
	堀込瑛介 紹介・予約	堀込瑛介	堀込瑛介	堀込瑛介	堀込瑛介
歯科口腔外科	柴野正康	<手術日>	薬師寺孝 紹介・予約	薬師寺孝	<手術日>
			前山恵里 紹介・予約	柴野正康	
新患外来	薬師寺孝 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	前山恵里 紹介・予約	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1、3、5週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約	稲川元明	稲川元明	稲川元明
	木村将典 紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約	木村将典	木村将典	倉持真理子 紹介・予約
	倉持真理子 紹介・予約	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2、4週のみ、紹介・予約	倉持真理子 紹介・予約		

(令和3年5月1日現在)

3 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.2

「顔の見える連携」は大切です

院長に就任してから1か月半ほど経過し、この間に地域医療に関係する行政機関や、当院に医師を派遣してくれている群馬大学の各教室にご挨拶と御礼に伺いました。そして現在は主に当院と連携している近隣の病院を訪問しています。コロナ感染が蔓延している中、病院を訪問するのはいかがなものかとも考えましたが、当分の間、登録医大会や症例検討会等は開催できません。こんな時こそ地域における医療連携「顔の見える連携」を維持・強化することが大切であると考え、私と連携室の看護師長、ソーシャルワーカー、連携事務職員で伺っています。初めてお会いできた先生も多数おり、また病院玄関や受付、待ち合い、廊下などのアメニティの工夫、感染対策や接遇なども非常に参考になりました。連携だよりやメール等ではなく、その場の空気を肌で感じることで初めて分かることが沢山あると感じました。ご多忙のところ、また外部からの複数の訪問者は感染対策で大変だと思いますが、院長先生をはじめ職員の方々に快く対応していただき、感謝いたしております。

いまだにコロナが収束の見通しがつかず、さらに変異株に対する恐怖が迫っている今こそ、地域全体で医療体制を維持しなければなりません。当院は地域の急性期中核病院として、今後とも顔の見える連携を心掛けていきますので、地域の皆さん、よろしくお願いたします。

さて、前回予告した今どきの周術期管理法の話です。周術期管理のポイントには ①感染予防 ②運動、リハビリ ③栄養、食事 ④疼痛管理 などがあります。術後管理について記した以下の①から④のうち、不適切なものはどれでしょうか。特に医療従事者でない方、次回、簡単に解説しますので、胃癌の手術患者さんを想定して考えてみてください。

- ① 手術後は肺炎や創感染を予防するため、術後7日間は抗菌薬の投与と創部の消毒を行う。
- ② 手術翌日など術後早期に歩行すると、手術部位に負担がかかり創の治りが悪い。
- ③ 腹部の手術では、手術前日から術後排ガスがあるまで食事はできない。
- ④ 術後の鎮痛薬は副作用があるため、疼痛はできるだけ我慢する。



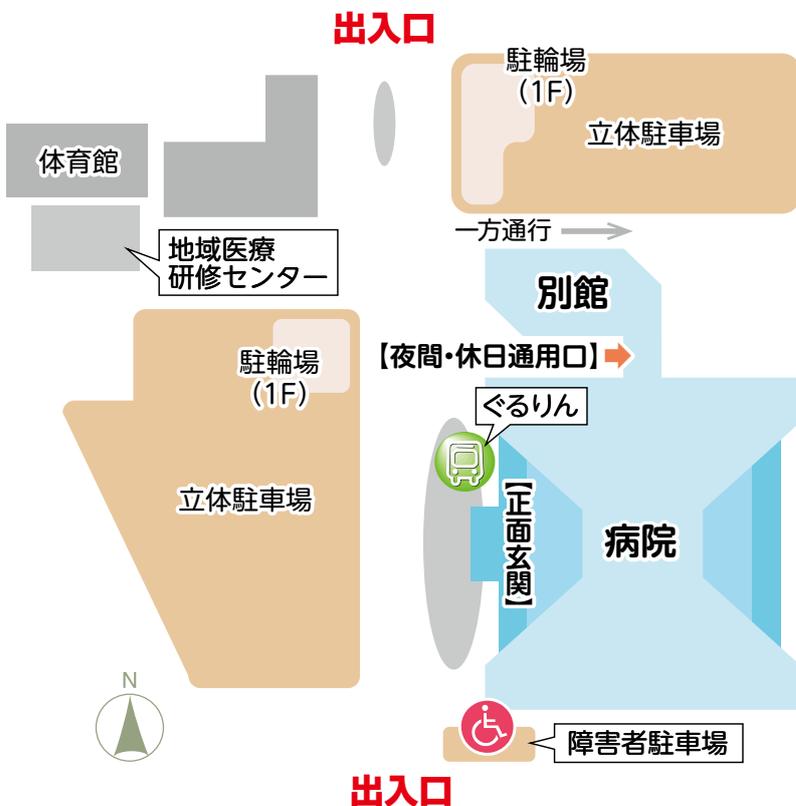
病院長 小川 哲史

高崎総合医療センター案内図

出入りについて

平日7時30分～17時15分は
正面玄関をご利用ください。

平日17時15分～翌朝7時30分、
土日祝日は
夜間・休日通用口をご利用ください。



編集室より

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

独立行政法人・国立病院機構
高崎総合医療センター